

「既に特別な君を誇るべきだから」

ペトロの手紙一 4章10～11節

あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。語る者は、神の言葉を語るにふさわしく語りなさい。奉仕をする人は、神がお与えになった力に応じて奉仕しなさい。それは、すべてのことにおいて、イエス・キリストを通して、神が栄光をお受けになるためです。栄光と力が、世々限りなく神にありますように、アーメン。

大学事務局学務部キャリア支援課アシスタントマネージャー 国府田 秀行

我が家には小学生の娘が二人います。その娘たちが昨年からはまっているのが NiziU というガールズグループです。確か秋ぐらいだったと思いますが、いつの間にか縄跳びダンスというダンスをはじめ、歌と踊りを覚えていました。私は最初、9 人のメンバーの顔の区別がつかず、何度も間違いを指摘されながらようやく覚えました。本日の奨励題は、その NiziU が 12 月に出したデビュー曲「Step and a step」の歌詞の一部です。この歌詞は、デビューまでの過程である日韓合同のオーディションプロジェクト「Nizi Project」の内容を反映しているものと思わずにはいられません。プロデューサーの JYP は、オーディションの中で、誰もが特別な理由をもって生まれてきたこと、1 位になってもビリになっても同じように特別であり、このオーディションはある特定の目的に合う人を探すだけで特別かどうかは関係がない、と言う場面がありました。私はその動画を見て、ずいぶんと聖書的な話をするものだと感じました。ちなみにその後は、プロデューサーが優しくしてほのぼのと進んで行くのかと思いきや、むしろ逆で、どんなに才能があっても努力して成長しない人はデビューさせないという方針で、どんどんダメ出しをしていきました。

本日与えられた聖書の箇所では、私たちが神からそれぞれ賜物、恵みを与えられていると書いてあります。まず注目したいのが「それぞれに」与えられていることです。つまり、みんなに与えられているのですが、中身は一人一人違うのです。そして次に注目したいことは、「既に」与えられているということです。これは、何かをがんばったから手に入るものでも、がんばらないと取り上げられるものでもありません。神は先に与えてくださっています。では私たちはそこから何をすればいいのでしょうか。

聖書は、その賜物を生かして互いに仕えなさい、と語ります。私たちは既に与えられていますが、それを生かすように言われているのです。しかしこれはなかなか難しい問題です。私たちはわざわざオーディションに参加しなくても、日々の生活の中で、周り比べて劣っていることや欠けていることを実感させられているのではないのでしょうか。胸を張って目を背けずにいられる人はどこにいるのだろうとさえ思います。しかし、神は私たちが欠けていることはとっくにご存知です。それでもなお、与えてくださっているのです。ですから私たちは、欠けていようと与えられた賜物を生かすべく歩んでいくことが求められているのです。

(祈り)

天の父よ。本日の全学礼拝において、あなたを礼拝する機会が与えられたことを感謝いたします。私たちは、あなたのことを仰ぎ、あなたに従う歩みをしたいと思いつつも、なかなかそのようにできない弱さを持っています。どうかあなたが私たちの心の頑なさを取り除いてください。私たちを強め、導いてください。特に、混乱の中で思い煩っている若者たちの上に、あなたの豊かな恵みと導きがありますように。この拙き願いと感謝を、聖学院に連なる一人一人の祈りに合わせ、われらの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

2021年6月23日 聖学院大学 全学礼拝